

総合情報学部のキャリアデザイン科目一覧

授業科目		年次	授業概要	到達目標
キャリアデザイン科目	情報社会と職業	2	本学の「総合的キャリア教育」の一環として、将来の進路選択に向けて「社会を知る」ことに重点を置いて授業を進める。この講義は、現在の社会情勢や様々な業種の実情を理解するために、社会で活躍している企業人、新卒採用にあたる人事担当者など幅広く外部から講師を招く。オムニバス形式で展開する講義により多彩なキャリアパスにふれ、履修者個々が将来に向けての職業観を醸成することを主眼とする。	下記5点に焦点を当て、受講者が自分の進路・キャリアを考える場となることを目指す。 1.社会情勢及び就職をめぐる全般的状況の理解 2.職業の理解 3.労働の意義の理解 4.就職に際しての心構えの育成 5.多彩なキャリアパスの理解
	キャリアデザインa	2	本学の「総合的キャリア教育」の一環として、将来の進路選択に向けて「自分の成長を確認する」ことに重点を置いて授業を進める。自分の進路を主体的に選択し、その実現に向けて行動する積極性が重要になる。授業の主要な目的は、以下の4点である。1.進路選択のための知識・情報を得る。2.就職活動全体の流れを理解する。3.自己分析の基礎を学ぶ。4.就職活動に主体的に取り組む意識を高める。なお、E-learningによる「職業基礎学力」学習を各自が活用して、就職活動および就職時に必要となる能力を高めるために取り組むこと。	2年生前期科目「情報社会と職業」に続く科目として、各自は進路選択及び就職活動に関する知識を得て、それを学生生活や就職活動のなかで実行することをおして、自分の適性に合ったキャリア形成をめざす。
	キャリアデザインb	3	本学の「総合的キャリア教育」の一環として、将来の職業選択に向けて「社会と自分をつなげる」ことに重点を置いて授業を進める。自分の職業を主体的に選択し、その実現に向けて行動する積極性が重要になる。授業の主要な目的は、次の2点である。1.社会および企業が求める人材の基礎的能力を実践的に理解し、それに必要な能力を体得する。2.企業等が求める人材を判断する就職試験を意識して、必要な能力を高める。	「社会と自分をつなぐ」ことに達成目標を置き、その実践について学ぶ。各自は、卒業後遅かれ早かれ社会人として働く場を企業等に求めることになるが、その企業等は求める人材を就職試験で判断する。そのため就職試験を一つの切り口として、基礎的学力、社会人常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力、職業人意識などに関する就職基礎力の必要性を実践的に理解する。さらにそれらを体得するために学生生活のなかで、就職基礎力に関することを意識的に繰り返し行い習慣化することにつなげるのが望ましい。
	インターンシップ	3	この「インターンシップ」では、単に学生に就業体験させるだけでなく、「マナー講座」、「発表会」、「報告書作成」などの事前事後のフォローアップを通じて、「職業観の育成」「キャリアデザインの構築」「専門教育へのフィードバック」などへの展開を目指すことになっている。この取り組みは、学部全体の「キャリア支援」に貢献するプログラムのひとつでもある。	本学の教育理念である「現代実学主義」を念頭に、学生自らが機関の中に身を置き、その活動の一端に触れながら、実社会の実態や抱えている問題点等を体験的に学習することを目的とする。
	日本の社会と生活文化(※)	2	日本の経済・社会・文化や日本人の行動・習慣などについて学ぶことで留学生の社会文化能力をさらに高めることを目指す。卒業後日本での就職を考えている留学生にとっての「日本についての一般常識」を学ぶ。知らないことばかりでなく、知っているつもりのことを正確に理解することで、一人一人の留学生の日本社会の中での実質的行動をより確かにするものにつなげる。	さまざまなテーマを学習者自らが調査・発表したり、図表や文字資料を読んだりして、現在の日本社会の状況についてより詳しく理解すること、及び、それぞれについて多角的な視点で考察し、自分なりの意見をもつことを目標とする。
	ビジネスコミュニケーション(※)	2	留学生在卒業後、日本企業に就職したり、日本人相手にビジネスを行なう際のビジネス日本語、ビジネス文化、及び日本人のコミュニケーションスタイルについて学ぶ。授業では講義のほか、学生同士のロールプレイを通じて、日本語によるコミュニケーション力の向上のための実習を行なう。	日本人のコミュニケーションの特徴を理解し、日本人との円滑なコミュニケーションやビジネス交渉が行なえるようになることを目指す。
	リポートコミュニケーション(※)	3	卒業後日本人学生と同様に就職活動をして企業に就職することを目指す留学生在が、日本独特のシステムである就職活動についての知識とスキルを身につけることを目的とする。授業では就職活動の流れに沿いながら、外国人にとって特異であるものに気付かせ、なぜそのようなことが求められるのかについての文化的な側面を考察していく。	就職活動についての方法を理解し、それらを通じて日本の産業社会、企業文化、労働事情などを総合的に理解することを目指す。

【備考】

授業科目の欄の(※)は外国人留学生科目を表す。